

神奈川県立

精神医療センター

NEWS ス

No.27

2024年7月発行



作 長谷川幹人

所長あいさつ

2024年度最初の神奈川県立精神医療センターの広報誌のトップページに、所長としてどのようなあいさつを書いたらいいのか、とても迷いました。すでに報道でご存じと思いますが、今年は念頭から当センターで職員の不祥事などが続き、患者さんやご家族、地域の関係機関の皆様にもいろいろとご心配をおかけしたため、いったい何を語れるのだろうかと思うからです。やはりまず、あらためて皆様にお詫びを申し上げます。

精神科病院で治療を受けている方々は、自分の症状や意思を十分に表現することが困難なため、医療者に対しても弱い立場になってしまいがちです。ケアする私たちは、メンタルヘルスの専門家として、感情に流されることなくさまざまな状況に対応していかなければなりませんし、ケアされる患者さんに対して不当に力を行ってはいないかどうか、つねに自らを点検し、自身の言動を厳しく律していく必要があります。不祥事や事故はあってはならないことですが、起こってしまった時には、丁寧に事後検証を行って今後の再発防止に生かし、精神科医療従事者としてあるべき姿に立ち戻れるよう、尽力していきたいと考えています。

病院の診療の質を高め、医療者が成長するために一番役に立つことは、患者さんやご家族の忌憚のないご意見です。どのようなことでも、ぜひ私たちにお伝えいただければと思います。よろしく願い申し上げます。

所長 田口 寿子

Contents

- 令和5年度依存症シンポジウム
依存症とセクシュアルマイノリティ～考えてみよう、打ち明けられない辛さ～を終えて
- イベントニュース
令和6年度看護の日のご案内
- 認知症シンポジウム

令和5年度依存症シンポジウム

～「依存症とセクシュアルマイノリティ～考えてみよう、打ち明けられない辛さ～」を終えて～

今回のシンポジウムのテーマは「依存症」と「セクシュアルマイノリティ」という、世間から理解されていない部分が多い両者を取りあげました。

当事者であるゲストを3名お迎えし、それぞれの体験に基づいた貴重なお話を聴くことができました。相手を自分の価値観や先入観で決めつけてはならないこと、それこそが相手を傷つけ、偏見や差別を生むことにつながるだろうことに改めて気づかされました。

今回のシンポジウムを開催するにあたり、運営スタッフへの「セクシュアルマイノリティ」に関する知識の事前共有と、会場のトイレが男女別のみであったため“だれでもトイレ”を設置しました。

今回のテーマのシンポジウムを開催したこと、令和5年4月より当院ではレインボー外来（セクシュアルマイノリティである方の依存症専門外来）を開設したこともあり、今後も1人でも多くの当事者の方への支援に力を尽くしてまいります。さらに、さまざまな多様性に対応できる病院を目指していきます。

神奈川県立精神医療センター
西村 康平

イベントニュース【開催のご案内】

令和6年度 看護の日ご案内

この度、「2024かながわ看護フェスティバル」の一環として「1日看護体験」を実施することといたしました。

当センターの看護フェスティバルメインテーマは「ともに寄り添い笑顔をつなげよう看護の心」です。

当センターで看護の心に親しんでいただき、看護の素晴らしさを体験していただければと存じ上げます。

看護の力をお伝えできるよう職員一同準備を進めていますので、皆さんの御参加を心よりお待ちしております。

実際に看護師さんにお仕事について聞いてみよう！

一日看護体験 してみませんか？

日時：2024年8月20日（火）13:40～16:00
—募集予定数 20名程度—（受付13:10～）

*申し込み締め切り：2024年7月4日（木）17:00まで

（申し込み方法）
・学校の先生に希望を伝えてください（先生からFAXで申し込みがされます）。
・応募者多数の場合には抽選とし、参加の可/不可を7月16日～7月18日の間に連絡いたします。

■問い合わせ先■
〒233-0006 横浜市港南区片が谷 2-5-1
TEL: 045-822-0241 看護教育部 佐藤（内線1252）

神奈川県立精神医療センター

認知症シンポジウム

認知症シンポジウムはコロナ禍に伴い大きな会場での開催を中断していましたが、令和6年2月17日(土)「認知症とともに歩む」というテーマのもと、神奈川県立保健福祉大学講堂にて第5回目を開催しました。

講演①はクロスアポイントメント制度により神奈川県立がんセンターと神奈川県立保健福祉大学の両方に在籍し、イノベーションを通じて自分で自分の健康をデザインできる社会を目指してご活躍されている成松宏人先生に、『認知症への新たな研究アプローチ』市民参加型データ研究～「神奈川県みらい未病コホート研究」～に関してご講演いただきました。



講演②はひまわりメンタルクリニック院長で、地域での認知症診療・支援・多職種共同ネットワークづくりに力を注いでおられ、若年性認知症を考える会や、しもふなかコンパスを立ち上げ認知症への理解をねがいご活躍されている小林博子先生に、『「絵本」“とかげのアンソニー”と一緒に認知症を考えてみませんか?』と題し、先生自らの読み聞かせを交えてご講演をいただきました。



2つの講演を聴講した来場者の皆さまより回収した質問票をもとに、田口所長の進行によってパネルディスカッションを行いました。これからも認知症の普及啓発を通して、誰もが安心して自分らしく暮らすことができる地域共生社会の実現に向け活動していきたいと思えます。



センターニュースでは、みなさんのご意見を随時募集しています。

取り上げてほしいテーマや、ご要望等がある方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

神奈川県立精神医療センター 総務課 soumu.1517@kanagawa-pho.jp



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター

〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-5-1
TEL 045-822-0241(代) FAX 045-822-0242
<https://seishin.kanagawa-pho.jp>